

山行報告書

報告書作成

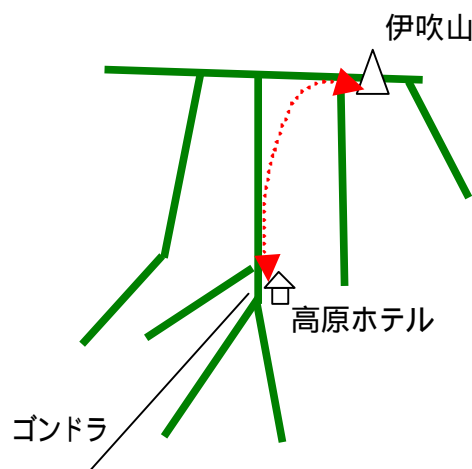
2007年1月13日

山名 [山域]	伊吹山	目的と方法	山スキー
登山期間	1月13日(土) みぞれ後晴	山行形態	日帰り
参加人数	2名		

行動記録

岩津市民センタ-P(600)==豊田東IC(610)==関が原IC(705)==伊吹山P(740, 805)--ゴンドラ降り場(815,855)
 --5合目(925)--伊吹山避難小屋(945,955)--山頂(1145, 1215)--ゴンドラ降り場(1345,1425)
 --伊吹山P(1450)==ジョイ伊吹(1455,1625)==伊吹の蕎麦(1630,1730)==関が原IC(1750)
 ==豊田東IC(1850)==岩津市民センタ-P(1900)

概念図



日誌

初物尽くしである。それは今年初山行、自分の計画実現初、自分の車初、そして、初登頂。時間通りに市民センターを出発。事前の予報では曇りであったが、伊吹山の駐車場に着くと、雨に近いみぞれが降っていた。山スキーの準備を済ませると、K師匠はシールを家に置いてきてしまったため、ゲレンデで滑ることになった。12時にホテルで待ち合わせることにして、昨日は風邪で会社を休んださんと2人で登り始める。ゴンドラを降りた3合目からのスタートであるが、いきなりホワイトアウト。地図とコンパスで方角を確認し、慎重にシール登高する。5合目付近では雪訓を15名程度で実施していた。どこの山岳会であろうか？しばらく行くと避難小屋があり、そこで休憩する。中は実にきれいでまだ新しい。雪はゲレンデ情報では80cmと少なく、ブッシュ、岩がかなり露出している。登るのは良いが、はたして滑れるのだろうか？段々と傾斜がきつくなり、9合目手前でスキーをデポし、アイゼン歩行。すると、あっさりと頂上についてしまった。10年前にきた時は8月でとても暑い思いをし、かなり急な傾斜であったような記憶があったのだが、結局これなら、スキーで登れたねとさんと少し悔しがる。山頂の日本武尊は大きなエビフライ状態になっていた。神社の中で、昼食をとり、今年安全登山と岡崎山岳会の盛況をお祈りする。おみくじを引くと吉でいいことばかり書いてある。ちょっとうれしくなってしまった。さて、デポ地点まで戻り、今年初の滑りである。しかし、滑れるところがほとんど無い。斜滑降とキックターンの繰り返しで高度を下げるが、つぼ足組みと同じくらいの速度である。さらに、ブッシュが出た斜面ではこけまくり、スキーをさせてもらえない。技術が足りないな～。待ち合わせから遅れること約2時間で、やっとK師匠と合流。この時点で、晴れ間が広がり、全貌が明らかに。ジョイ伊吹で1時間半ほど長湯後、伊吹野という蕎麦屋でとてもおいしい蕎麦を食し、帰路に着く。山って、本当に贅沢な遊びだな～。今度はもっと雪のある時に来ると伊吹山と約束をしました。